



卒業おめでとうございます



卒業生の保護者の皆さま

小学校入学から中学卒業までの9年間、健康診断へのご理解ご協力、毎年保健に関する書類の記入や提出等のご協力を頂きありがとうございました。

中学3年間（中央小出身の生徒は小学4年間+中学3年間の計7年間）保健室という場から間接的にお子さんの成長に関わらせていただきました。

先日2月末に行った身体計測で、見た目にも数値としても一人一人成長した姿に、生まれてから今日までの15歳という命の尊さを改めて感じています。

中学校時代の子育ては、おうちの方にとって体の変化と心の変化が一番大きくあらわれる思春期の子育て期。親として、いろいろな思いがあったかと推察いたします。

あと数年、思春期の子育て期が続きます。思春期の心の葛藤は、お子様の成長にとって必要であり、大事なこと。

お子様に、成長し自律する力があると信じ、葛藤するお子様を、近すぎず、遠すぎずの程よい距離感で、これからもうしばらく見届けてください。きっと、5年後、10年後のお子様の自律された姿、笑顔へと繋がっていくと思います。

お子様の未来が輝かしいものでありますよう、心よりお祈りいたします。

卒業生のみなさんへ

自分の「思い」「こうしたい」で、未来は変わる！

挑戦していく勇気をもって、輝く自分の未来を作ってください。

人が大きく成長するには、失敗や挫折が欠かせません。うまくいった経験しかない人は、実際、打たれ弱いものです。

小さな失敗も大きな失敗も、必ず君の糧になります。

チャレンジしなければ失敗もしませんが、それではなにも得ることはできません。「失敗から学べるんだ」ということを一度でも経験で実感することさえできれば、次の行動の勇気につながります。

そこから先は、試行錯誤を繰り返せばいい。

うまくいくこともあれば、うまくいかないこともある。その全部の経験が、君を成長させていくエネルギーに変わります。

失敗は、「挑戦し続けられる自分」になるために欠かせない栄養素なのです。

「考える、動く、自由になる。15歳からの人生戦略」

工藤勇一 著より抜粋